



# 研究

1月28日(木) NO. 7

文責 道德教育推進教諭

1月は『いぬる』とはよく言ったものです。「お正月気分を吹き飛ばして、まとめの時期の3学期です。気を引き締めていきましょう。」と子どもたちに、話したのはつい最近だと思っていたのに、あと4日で2月になります。早いものです。計画通りまとめは進んでおられますか？できる限り、今の学年の力をつけて、次に送り出したいですね。共に頑張りましょう。



さて、先日安芸高田市立吉田小学校に学校訪問させていただきました。永井校長先生を始めとして、研究主任の岩見先生、指導教諭の八島先生、授業公開をしてくださった田丸先生に大変お世話になりました。そして、多くのことを学ばせていただきました。行かせていただいて本当に良かったと思えました。今日はその一端を紹介します。

## 安芸高田市立吉田小学校の学校訪問を終えて学んだこと

### ★学習規律・人として

- 人の方に体と顔を向けて話す・聞く。
- 頷く。共感的な態度で聞く。
- 腰骨を立てて学習する。(1年のうちから言い続けることが大切だそうです。しかし、声を荒げるのではなく、背中を押してやる程度でよいそうです。)
- 挨拶は自分から先にする。(どの児童も大きな声で進んでにこやかに気持ちの良いあいさつをしてくれました。)
- 靴箱のスリッパを揃える。
- 気軽に「どうぞ」「ありがとう」が言える。(プリントを配布するとき、友達同士で言えていました)

**どれも、教師が示し、できるまでさせることが大切だと思えました。できないのではなく、させていないだけなのです。できるまで、繰り返し根気よく指導していくことが大切だと反省しました。**

### ★指導案の形式について

- 別紙を参照にしてください。今年度の反省も含め、吉田小の指導案も参考にしながら、指導案の形式を検討していきたいと思えます。

うらに続きがあります



### ★授業について

【道徳5年 東京書籍 『残った仕事』（4－3 社会的役割の自覚と責任）】  
何を児童に教えたいかねらいをしっかりと教師が持ち、そのために授業を作っていくことが一番大切！

- どの児童も発言ができる。  
(日ごろの授業で、自分の思いを持つこと・みんなの前で発表することが、自分達の学習を深めることを分かっているし、道徳の授業そのものを楽しめているからこうなるのでしょう。)
- 教師の切り返しがうまい。  
(資料の分析により、予想させる児童の反応をしっかりと考えたり、価値により近づくための意見が出ないときのことまで考えたりしているからこそ、深めていくところが明確で切り返していけます。)
- 行動についての理由とそれをした場合の結果についてワークシートに書く。それも、両方の考えについて。  
(私たちは、自分の思いについてだけ書かせます。しかし、吉田小では、問題解決学習により、先を見通すことができるようにさせたい、つまり人の思いの理由や結果を考えさせることによって、他人の痛みや喜びなどを少しでも感じるようにさせたいために、このような形をとられるのだそうです。)
- 自己選択の場面を複数回とる。  
(教師は、自分ならどうするかを複数回聞きました。話し合いにより、児童の意見は変容します。変容の理由を発表させることで、児童が価値を高めていました。)  
まだまだ、学ぶべき点は沢山ありましたが、今回は以上の紹介にしておきます。

### \*\* 教室環境やいままでのまとめはできていますか \*\*

- ① 道徳のあしあとは、掲示している。
- ② 道徳の略案と板書は、ラミネートしている。
- ③ 今までに行った道徳の授業を価値項目ごとにまとめている。  
(表は研究のフォルダの中にあります)
- ④ 授業で使った資料は、資料室にストックしている。  
(指導略案・板書・読み物資料のコピーもお忘れなく)
- ⑤ “心のコーナー”は1月に一度は更新している。

